

## 第5章 食物アレルギーに関する研修について

全教職員が食物アレルギーやアナフィラキシーの正しい知識をもち、エピペン<sup>®</sup>を正しく扱えるように実践的な研修を定期的実施します。

校内にエピペン<sup>®</sup>を所持している児童生徒の有無にかかわらず、アレルギー疾患に対する理解を深め、緊急時に適切に対応できるよう備えることが重要です。

校内研修では、個別の取組プランや管理指導表、マニュアル、国のガイドラインなどを活用して、教職員全員で共通理解を深めます。

### (1) 研修内容(例:食物アレルギー)

- ① 食物アレルギーの知識と理解
  - 食物アレルギーについて … 定義・頻度・原因・症状・治療
  - アナフィラキシーについて … 定義・頻度・原因・症状・治療
- ② 園・学校内及び関係機関との連携
  - 該当する子どもの情報収集及び家庭・医療機関との連携について
  - 管理指導表や個別の取組プランについて
- ③ 園・学校生活における留意点について
  - 該当する子どもの対応について
    - ・該当する子どもの症状や原因物質
    - ・給食などの食事について
    - ・給食以外の対応について
  - 周囲の子どもの対応について
- ④ 緊急時の対応
  - 対応の仕方
    - ・主な症状
    - ・教職員の役割分担
    - ・緊急時のシミュレーション  
(救急車要請、エピペン<sup>®</sup>準備、AED準備、救急処置、教職員の動きなど)
    - ・エピペン<sup>®</sup>の実技研修  
(使用に関する法的解釈、使用のタイミング、使用手順、保持者と保管場所の確認)

### (2) 研修時期

- 年度初め(学校給食を実施している場合は給食開始まで)には必ず教職員全員の共通理解を図ります。
- 校外行事や宿泊を伴う行事の前など必要に応じて研修を行います。
- 子どもの状態が変わった時やヒヤリハット事例があった時は、必ず報告し、教職員全体で共通理解を図ります。

「札幌市立幼稚園・学校におけるアレルギー疾患対応マニュアル」令和6年7月改訂  
札幌市教育委員会 一部抜粋